



開校52年目

七小だより

令和6年度 学校だより 12月号

令和6(2024)年11月29日

国立市立国立第七小学校

校長 小畑 行広

「二つであって、二つでない心と体」

校長 小畑 行広

令和6年度の2学期も、冬休みを迎える12月を残すばかりとなりました。

また、この12月は、令和6年の終わりの月でもあります。子供たちにとって、どんな1年だったでしょうか。また、各ご家庭では、どのような出来事があり、どのような思い出や記憶が綴られたのでしょうか。

私たち人間の生活の中で綴られる記憶は、その人のその時の状態や状況に応じて、変化をするものです。心身ともに充実をしている時には、楽しい思いや気持ちよさ等、前向きな心情がベースとなり、記憶に残っていきます。また、それとは逆に、心身ともに辛い時には、心の重さやもよもや感等、負の心情がベースとなって、心に残ります。

私たち人間は、心と体が密接につながっていて、心に思ったことや感じたことが体に様々な形になって現れます。心が元気であれば免疫力が高まり、病気にかかりにくくなります。例えば、楽しい思いをもちながら運動していると、時間を忘れて取り組むことができます。そして、疲れも軽く感じ、体が元気に動きます。

また、逆に体が重く、辛い時には、どんなに楽しい出来事があったとしても、真に楽しく過ごすことができません。私たちの心と体は、別々のようであっても、瞬時に一つになって作用することがあり、それを一日の中で、何千、何万と思えるほどに心を働かせ、体に連動させます。また、体を動かすことで、心に影響を与えます。

先日行われた、道徳授業地区公開講座において、本校の校内研究の年間講師である創価大学教職大学院教授 石丸 憲一先生の模擬授業を通した講演の中で、「道徳の授業は、模擬体験である」との言葉が心に残りました。私たちが日常の中で経験することを道徳の授業の中で前もって経験することを通して、その時々に必要な対応する力が付くということを改めて学びました。

一日に何千とも、何万とも揺れ動く心の働きは、日常生活のその時々を経験を基に高まる場所ではありますが、未来を生きる子供たちには、意図的でねらいがある学校の学習や活動の中で、心を育てていくことも必要であり、今、七小が取り組んでいる道徳教育の取組は、正しく未来を育てる大切な時間であると考えます。

子供たちが心豊かに、安心感をもって日々の生活を過ごし、安全な環境の中で、たくさんの経験と体験を通して、昨日より今日、今日より明日へと着実に成長できるよう本校の教育活動を着実に進めていかなければと心を新たにしました。

誰もが前を向いて、元気に健康に、生き生きと学校生活や日常生活が送れるように心を尽くしてまいります。この12月も、充実の日々にしてまいりたいと思います。

お知らせ【12月】

【道徳授業地区公開講座】

11月16日(土)の道徳授業地区公開講座にご来校いただきありがとうございました。

3時間目は、全ての学級で道徳科の授業を公開しました。どの学級においても、これまで校内研究で取り組んできたことを基にしながら授業を行いました。4時間目は、創価大学教職大学院教授の石丸憲一先生を講師にお招きし、「子供がザワつく道徳授業」の模擬授業と講演を行っていただきました。当日は「大きな絵はがき」という教材を使って、保護者、地域の皆様、本校教員が参加し、児童の気持ちになって石丸先生の授業を体験しました。



模擬授業の中で、石丸先生から「あなたには友達がありますか？またそれはどういう存在ですか？」
「普通の友達と仲のいい友達だったら、(行動は)違いますか？また、その違いはなぜ生まれるのでしょうか？」などの問いかけに、大人も自分を見つめながら、真剣に考えていました。

今後も本校では、「自分を見つめ、考えたくなる・話したくなる」道徳の授業を目指して、児童の心の教育に努めてまいります。授業のご参観、講演会のご参加ありがとうございました。



【学習用具の持ち帰り】

12月9日(月)頃から学習用具を持ち帰ります。計画的に持ち帰るように声掛けをしていきますので、道具箱などが入る大きな袋を持たせてください。また、冬休み中には、道具箱の中身、絵の具や習字道具など、補充と点検をお願いします。

【1年生より】

11月13日(水)に東京学芸大学の学生団体と「ゆるスポーツ」を通して交流をしました。

初めて行うゲームに興味深々で、積極的に体を動かしていました。これから、寒さの厳しい季節になっていきますが、休み時間に外遊びを推奨したり、体育でも楽しい遊びやゲームを取り入れたりして、体を動かす楽しさを伝えていきます。



お知らせ【12月】

【見守り会の活動について】

11月4日（月）の天下市において、国立市市民表彰式典が行われました。市政の振興や市民の生活と文化の向上に功労があり、市民の模範となるような行いをされた団体として、七小地域見守り会が国立市より表彰されました。

国立七小では、10年間に渡って毎朝、児童の登校を見守ってくださっている見守り会ですが、ボランティア活動としてここまで続くのは本当に素晴らしい取組だと感じています。



また、11月14日（木）には、市役所において通学路の見守り活動に関する情報交換や、立川警察署の方から交通規制の基準に関するお話をいただきました。また、保護者の皆様にご協力をいただいている馬



出しや挨拶についても情報を共有しました。毎朝、挨拶をしていくことで、次第にコミュニケーションがとれるようになったという話もあり、子ども達が、安全に安心して学校生活を送るためには、保護者や地域の方々と連携を深め、継続して取り組んでいくことの大切さを感じました。

【構成的グループエンカウターの取組について】

七小では、各学級で構成的グループエンカウターに取り組んでいます。

この構成的グループエンカウターを行う目的の1つは、肯定的であたたかい雰囲気の集団をつくることです。様々な「エクササイズ」と呼ばれる活動を行い、児童同士が関わり合う場面を設定することで、より深いつながりを児童がもつことができます。



目的のもう1つは、自分自身や友達の新たな一面を発見することです。エクササイズに取り組んだ後に振り返りをします。振り返りをすることで、自分では気付かなかった一面を友達が教えてくれたり、友達の新たなよさに気付いたりすることができます。



この構成的グループエンカウターの取組を継続していくことで、思いやりのある児童、居心地のよい学級を目指していきます。

【3学期始業式】

1月8日（水） 登校時間 8：00～8：15
始業式 8：20

《持ち物》

- ・冬休みの宿題 ・上履き ・防災頭巾 ・筆記用具 ・連絡帳
- ・通知表（裏表紙に押印をお願いします。成績表は、自宅で保管してください。）
- ・雑巾2枚（記名、無記名のものを1枚ずつ）
- ・全学級4時間授業です。給食はありません。

